

地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画
平成 29 年度事業評価検証シート

平成 30 年 9 月

会津若松市
社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会

目 次

市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート	1
基本目標 1 地域福祉の理解を深め、担い手を育てる地域づくり	1
基本目標 2 地域の中での支え合い、助け合いがある地域づくり	7
基本目標 3 いつまでも安心、安全に暮らせる地域づくり	12
基本目標 4 健康ですっといきいき暮らせる地域づくり	27
基本目標 5 福祉サービスの充実した地域づくり	31
地域福祉計画評価シート（重点的取組）	36
重点的取組 1 地域福祉活動の基盤となる地域の仕組みづくりの推進	36
重点的取組 2 災害時避難行動要支援者に対する日常的な見守り体制	37
重点的取組 3 生活困窮者自立支援の取組	38
地域福祉活動計画評価シート（重点事業）	39
市地域福祉計画・社会福祉協議会地域福祉活動計画全体評価	40
会津若松市地域福祉計画等評価検証会議委員名簿	41

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本理念「誰もが安心して暮らせるよう地域で支え合うあいづわかまつ」

基本目標 1 地域福祉の理解を深め、担い手を育てる地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 地域福祉の理解促進及び福祉の心の育成	○地域との懇談会、講演会や勉強会等の開催等、地域福祉への理解促進につながる取り組みを実施します。	○『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』において、富山型デイサービスに関する講演会を実施し、地域福祉の理解を深めました。 〔演題：親子じゃないけど親子です～富山型デイの実践報告 講師：NPO 法人にぎやか 理事長 阪井由佳子氏 平成 29 年 11 月 2 日 150 名参加〕 ○事例発表会『地域包括ケア～地域連携～』において、本市の取組を発表し、地域福祉の理解に努めました。〔新規〕 〔平成 29 年 11 月 2 日 開催 200 名参加〕	○市民の福祉意識の向上のため、各種取り組みを推進します。	○市と『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』において、富山型デイサービスに関する講演を行い、地域福祉の理解に努めました。 ○第 32 回会津若松市社会福祉大会を開催し、民生委員制度創設 100 周年記念事業と合同で記念講演を行い、福祉活動功労者の表彰と地域福祉活動の広報を行い地域福祉への理解促進を図りました。	○地域福祉についての理解に努めます。(市民) ○地域社会を構成している一人であることを意識します。(市民) ○地域の生活課題・福祉課題について意識します。(地域の各種団体) ○課題の解決に向けて、可能な範囲で自助の取り組みを行います。(地域の各種団体) ○地域福祉やノーマライゼーション等に関する意識啓発に協力することや、従業員が地域活動やボランティア活動に参加することへの理解を深めることに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)	○市の職員が地域に向き、地域の現状や課題の把握の継続を希望します。

※ 地域福祉活動の実態調査結果 …… 地域ケア会議やミニケア会議、出前講座などで、参加者から寄せられた意見。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○他地域における地域活動の事例等を市民に紹介していきます。</p> <p>○教育機関や社会福祉協議会(以下「社協」と)の連携や、出前講座の実施等の取り組み等により、福祉の教育の推進や生涯学習の機会づくりに努めます。</p>	<p>○ひきこもりの社会復帰につなげるとともに、すべての人が活躍する地域づくりにつなげることを目的に『ひきこもり支援研修会』を開催しました。〔新規〕</p> <p>演題：ひきこもり支援から見た地域福祉の可能性 講師：秋田県藤里町社会福祉協議会 会長 菊池まゆみ氏 平成 30 年 1 月 31 日 44 人参加</p> <p>○職員が地域に出向き、市政について講義・説明を行う「生涯学習出前講座」を実施し、地域福祉などの啓発に努めました。</p>				

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果						
2 地域活動の担い手の育成と人材育成への支援	<p>○市民公益活動に係る情報の発信及びNPO法人等への活動の支援を行います。</p> <p>○地域活動を行う団体や社協との協力のもと、地域活動の担い手やリーダーとなりうる人材の育成に努めていきます。</p>	<p>○NPO 相互のネットワークの構築を目的とする『NPO Links あいづ』の設立を支援しました。〔新規〕</p> <p>○地域課題に対する活動や起業を検討している個人・団体等を支援するため、専門家によるアドバイスを行う『市民活動・ソーシャルベンチャー相談窓口』を市民からのアイデアによる協働事業で設置しました。〔新規〕</p> <p>○生涯学習総合センターとの連携による『出前講座』において、地域の勉強会に出向き、地域福祉の考え方の理解促進に取り組みました。 〔実施 2 回・参加 45 名〕</p>	<p>○地域活動のリーダーの育成や、地域活動の担い手育成につながるような取り組みを推進します。</p>	<p>○『ボランティア養成・福祉体験講座』等を開催し、地域活動を担う人材の養成に取り組みました。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>養成講座</td> <td>5 回</td> </tr> <tr> <td>アフターケア講座</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>修了者</td> <td>36 名</td> </tr> </table> </p> <p>○地域活動の推進と空き家の有効活用を図るため、『ささえあい拠点認定制度』モデル事業を実施しました。 〔新規〕 〔認定 1 団体〕</p> <p>○ボランティア育成の体系化を図るため、『会津若松市ボランティア学園』（以下「ボランティア学園」）の開校準備に取り組みました。〔新規〕</p>	養成講座	5 回	アフターケア講座	3 回	修了者	36 名	<p>○町内会等の活動について関心を高めます。（市民）</p> <p>○市民公益活動団体やその活動等についての関心を高めます。（市民）</p> <p>○地域の行事や催事等に可能な範囲で参加する努力をします。（市民）</p> <p>○多くの住民の関心を高め、参加できるような運営に日頃から努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○幅広い世代の交流促進につながるような機会の創出に努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○町内会等の行事や運営への協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	<p>○リーダーの育成だけではなく、リーダーを支える人材の育成も必要だと思えます。リーダーが全てを行う現状では、リーダーのなり手がなくなってしまいました。</p> <p>○ボランティアの研修などを受けても活動の場がないとの声が聞かれます。</p> <p>○『ふれあい・いきいきサロン』に参加することで地域の人とのふれあいが増え、地域の人をより身近に感じられるようになりました。</p>
養成講座	5 回											
アフターケア講座	3 回											
修了者	36 名											

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
		<p>○地域や学校で活動するボランティアを養成する『読み聞かせ講座』を開催するとともに、『赤ちゃんおはなし会』、『ブックスタート事業』などで受講者のボランティア活動の場を提供しました。</p> <p>〔受講者数 9名 ボランティア新規登録者数 4名〕</p> <p>○『生涯学習支援者講座』、『地域デビュー応援講座』を開催し、地域活動等に主体的に取り組むことのできる人材の育成に努めました。</p> <p>〔支援者講座 33名 応援講座 3名〕</p>		<p>○高齢者やボランティアが身近な地域で仲間づくり、生きがいを『ふれあい・いきいきサロン活動』について、助成金の交付と職員の派遣のほか、活動団体の交流会を開催し、活動の推進に取り組みました。</p> <p>〔開催箇所 88箇所 支援回数 35回 交流会 1回 介護予防体操養成講座 3回〕</p>	<p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すような働きかけなど、地域貢献につながる取り組みに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○サロン活動等の地域福祉の基盤となる活動についてのさらなる周知・広報を行うとともに、必要な支援を行っていきます。	○『地域支え合い活動講演会』を開催し、他の地域における『ふれあい・いきいきサロン活動』の取組を紹介しました。〔新規〕 演題：地域支え合い活動について 講師：会津大学短期大学部 青木孝弘氏 事例発表：3 サロン 平成 30 年 3 月 14 日 100 名参加				
3 若者が参加しやすい環境づくり	○若者のおかれている生活状況やニーズ等の把握を行うためのアンケート調査や懇談等を実施します。 ○大学、企業・事業所、社会福祉関係団体等との協力のもと、若者が地域の中で自然環境や伝統文化にふれる活動、ボランティア活動に参加しやすい環境づくりを進めます。	○結婚支援の必要性・あり方を考える基礎資料とするため、若者の結婚に関する意識調査を行いました。〔新規〕 ○学生と地域住民が交流し、学び合う機会を設ける『あいづまちなかキャンパス』を実施しました。 〔実施 2 回・参加 144 名〕	○若い世代のボランティア活動に対する理解を深め、参加につながるような取り組みを積極的に推進します。	○小・中学校や企業に訪問し、車イスへの乗車を体験してもらうなどの『出前福祉体験教室』の実施、高校生の夏休み期間を利用した『サマーショートボランティア事業』を実施し、福祉教育の推進、福祉意識の醸成に取り組みました。 出前福祉体験教室 実施 17 回 サマーショートボ ランティア 参加 27 施設 73 名	○地域の催事や行事に子どもや家族を誘って一緒に参加するよう努めます。(市民) ○地域活動に取り組む市民は、子どもたちを誘い、活動を知ってもらう機会をつくることに努めます。(市民) ○学校等が取り組む地域との交流活動等に協力します。(市民) ○子どもから高齢者までの多様な世代が参加し、交流できる催事や行事の企画運営に努めます。	○ふれあい・いきいきサロン活動が高齢者だけの活動ではなく、子どもや子育て世代など幅広い人が参加できるように取り組んでいます。 ○若い人が多く働く地域の福祉事業所に除雪ボランティアへの参加をお願いしています。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○若者が地域活動に参加しやすくなるような職場環境づくりに向けて、企業や事業所等に働きかけを行います。</p>	<p>○会津若松商工会議所などの経済団体を通じ、地域福祉活動への企業の参加や、従業員が参加しやすい職場環境づくりを要請しました。 〔新規〕</p>			<p>○活動に参加する機会が限られている学生や勤労者に対し、回覧板等を活用し、地域の運営や活動に関する情報を継続的に発信するなど、地域の情報から隔離しないように努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。(民間・福祉サービス事業者等)</p> <p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献に繋がる取り組みに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<p>基本目標 1に係る評価 (平成 29 年度)</p>	<ul style="list-style-type: none">○地域福祉の理解促進のために、引き続きの情報発信と理解促進に努められたい。○『生涯学習支援者講座』などで、活動の中心となる担い手の育成が図られていることは評価できる。○ボランティア講座などの修了者の実践的な場がないとの声があり、『ボランティア学園』も開校し、終了者も増えることから、『ボランティアセンター』におけるボランティアと希望者を結びつける機能や情報発信機能の強化を希望する。○地域の『ふれあい・いきいきサロン』の数が増加しており、身近な取組として評価できる。サロン活動の継続、拡大になるよう引き続き支援を行われたい。○将来の活動の中心となる若者が地域福祉活動に参加できるよう、企業などへ職場環境の改善の働きかけを引き続き行うとともに、企業自体も地域の一員として、地域福祉活動に参加するよう意識啓発に努められたい。○地域福祉の推進にあたっては、市と社協の連携が必要不可欠であることから、引き続き連携を密にした事業展開を図られたい。
-----------------------------------	---

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標 2 地域の中での支え合い、助け合いがある地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 地域福祉活動への参加の促進	<p>○地域福祉活動に取り組む体制が十分でない地域への支援を行います。</p> <p>○既に実践されている地域活動の事例等を市民に紹介していきます。</p> <p>○地域との懇談会、講演会や勉強会等の開催等、地域福祉活動への参加意識を高めるための取り組みを実施します。</p>	<p>○地域の住民福祉向上などに向け、地域住民が住民目線で様々な取り組みを継続的に行うための組織体制整備を図る『地域づくりモデル事業』を実施しました。</p> <p>○地域ケア会議等において、他の地域における地域福祉活動の取組等を紹介しました。 〔参加 56 回〕</p> <p>○町内会等の住民組織での認知症サポーター養成講座受講により、地域内での認知症の方の日常的な見守りを推進につなげました。</p>	<p>○地域福祉活動の推進につながるよう、取り組みを進めます。</p>	<p>○ボランティア養成、福祉体験講座等を開催し、地域活動を担う人材の養成に取り組みました。〔再掲〕</p> <p>○高齢者やボランティアが身近な地域で仲間づくり、生きがいづくりを行う『ふれあいいきいきサロン活動』について、助成金の交付と職員の派遣のほか、活動団体の交流会を開催し、活動の推進に取り組みました。 〔再掲〕</p>	<p>○町内会等の地域活動団体に加入します。(市民)</p> <p>○自らが生活する地域の生活課題等について日頃から意識します。(市民)</p> <p>○地域の催事や行事等に可能な範囲で参加することに努めます。(市民)</p> <p>○地域の課題を解決するために、地域で行えることを皆で考えます。(地域の各種団体)</p> <p>○地域の方で取り組めることから行動に移す努力をします。(地域の各種団体)</p> <p>○他地域の取り組みへの関心高め、情報収集に努めます。(地域の各種団体)</p>	<p>○個人情報の意識の高まりにより、町内会にどのような人が住んでいるか把握が難しい状況のため、地域福祉活動の実施に支障になることがあります。</p> <p>○町内会にはマンションが多いため、マンションの住民を意識した町内会活動に心がけている。</p> <p>○子供会役員のなり手が不足しているため、高齢者も運営に参加している。</p> <p>○他の地区や自治体で行っている地域福祉活動の紹介をもっと行ってもらいたい。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○勤労者が地域活動に参加しやすくなるような職場環境づくりに向けて、企業や事業所等に働きかけを行います。</p>	<p>○地域包括支援センターと連携し、地域の自主防災組織の立ち上げに向け、専門家を招いた勉強会や、町内会との懇談会を実施しました。〔新規〕</p> <p>演題：年をとってもいきいき暮らせるまちづくり 講師：認知症介護研究研修東京センター副センター長 佐藤信人氏 平成 29 年 8 月 26 日 開催 40 名参加</p> <p>○会津若松商工会議所などの経済団体を通じ、地域福祉活動への企業の参加や、従業員が参加しやすい職場環境づくりを要請しました。〔新規・再掲〕</p>			<p>○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p> <p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献につながる取り組みに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 市民協働による取り組みの推進	○市民協働による取り組みが広がるよう、市民への理解促進や情報提供を図っていきます。	○市民公益活動団体との協働により地域課題の解決に取り組む『行政提案型協働モデル事業』を実施しました。 ・みんなで考えよう！「街と鳥害」対策事業 ・メダルの付加価値化によるウォーキング習慣化実証事業 ・本町地区安全安心まちづくり事業 ・イベント企画運営による若者の社会参画促進事業	○地域住民同士が協力して行う活動の継続や、充実・強化が図れるような支援の取り組みを推進します。	○要援護世帯に対する除雪活動をボランティア活動で支援するため、町内会単位の『地域ぐるみ除雪ボランティア』、企業等の『スノーバスターズ』の組織化を推進しました。 地域ぐるみ除雪ボランティア 組織数 92 地区 登録者数 809 名 除雪回数 6,073 回 間口回数 4,919 回 スノーバスターズ 登録者数 197 名 除雪回数 73 回	○自分が住む地域のNP ○法人等の活動などへの理解に努めます。(市民) ○知識や能力を地域のために活かせる機会がないかを意識します。(市民) ○困ったことを解決するために、自らができる範囲から取り組むことに努めます。(市民) ○困ったことについて、問題意識を共有できる人が近くにいないか探してみます。(市民) ○課題の解決に向け、他地域の取り組み等の情報に関心を高めます。(地域の各種団体) ○課題の解決に向け、地域として何が出来るかを住民同士で一緒に考えてみます。(地域の各種団体)	○他の地区や自治体で行っている地域福祉活動の紹介をもっと行ってほしい。 ○災害時要支援者名簿が配付されたことをきっかけに、町内会と民生委員が協力し、近所の人に支援をお願いしました。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○市民協働による取り組みが推進されるよう地域の多様な担い手と市のネットワーク構築に努めます。	○北会津地区、河東地区の「地域づくり委員会」の活動を支援し、事業の実施や地域内交通の運行に向けた各種検討等、連携・協働による地域づくり活動に取り組みました。 ○湊地区において住民が主体となって地域課題の解決に取り組む『湊地区地域活性化協議会』の活動を支援し、連携・協働によりイベント開催や農産物直売所運営、地域内交流バス運行、地域の担い手育成などの地域づくり活動に取り組みました。		○湊地区における『湊地区地域活性化協議会』、東山地区における『東山人と地域をつなぐ会』の活動に参画し、地域福祉の観点から地域づくり活動に取り組みました。	○課題の解決に向け、可能な範囲から取り組むよう努めます。(地域の各種団体) ○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等) ○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献につながる取り組みに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)	
基本目標 2 に係る評価 (平成 29 年度)		○地域住民が地域課題の解決に積極的に取り組む『行政提案型協働モデル事業』は評価できる。 ○除雪することが困難な世帯への支援の強化を図られたい。 ○「地区社協」は地域福祉活動の拠点となることから、取組の推進と早期の組織化が望まれる。 ○地域福祉活動に係る個人情報の適正な取得や管理について市の支援が望まれる。 ○地域福祉活動に集合住宅の住民や学生が参加を促す取組の強化が望まれる。				

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標3 いつまでも安心、安全に暮らせる地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成29年度 市の取組	基本施策の展開 ＜社会福祉協議会に求められること＞	平成29年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民間事業者、福祉サービス事業者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 地域の活動拠点づくり	<p>○地域の活動拠点となっている公民館やコミュニティセンター（以下「コミセン」）等の公共施設の利用促進を図るとともに、地域の自治会館や集会所等の地域の活動拠点の整備に係る助成事業等の情報提供を行います。</p> <p>○地域の活動拠点で行われる老人クラブやサロン活動等への参加促進につながる情報提供を行います。</p>	<p>○地域の活動拠点となる地域の集会所等に対し固定資産税の減免を行うことで、地域コミュニティの活性化に向けた活動の支援を図りました。</p> <p>○地域の集会所の新築、改修、修繕に対して、『集会所整備事業補助金』を交付しました。</p> <p>○町内会等が行うコミュニティ活動に必要な設備や集会場の整備に対し、一般財団法人自治総合センターの『コミュニティ交付金』を交付しました。</p> <p>○『ふれあい・いきいきサロン活動』を社協や地域包括支援センターとの連携を図りながら支援を行いました。</p>	<p>○地域の活動拠点の積極的な利活用が図られるよう、集いの場の充実支援及び、サロン活動等の新設に向けた支援を推進します。</p>	<p>○『ふれあい・いきいきサロン』の活動支援及び新設に向けた案内を行い、地域における活動拠点、交流拠点づくりに取り組みました。</p> <p>〔平成28年度 76件〕 ↓ 〔平成29年度 88件〕</p> <p>○『認知症カフェひだまり』の開催拠点として、「河東園芸ふれあいセンター」を開放し、認知症への理解促進に協力しました。 〔9回開催 222名利用〕</p> <p>○空き家等を活用した『ささえあい拠点認定モデル事業』を実施しました。〔新規・再掲〕</p>	<p>○地域の活動拠点となる施設について把握するとともに、利活用に努めます。（市民）</p> <p>○地域の活動拠点で行う交流促進のためのサロン活動や催事等に積極的に参加するよう努めます。（市民）</p> <p>○市域の公民館、コミセン、自治会館、集会所等の地域の活動拠点となる施設を活用し、住民同士の交流促進のための拠点づくりに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○地域の活動拠点で行われている催事等への協力を行うなど、地域貢献活動の取り組みに努めていきます。（民間事業者、福祉サービス事業者等）</p>	<p>○地域に『ふれあい・いきいきサロン』を行える集会所や自治会館がないため、サロンに参加するには、遠くまで歩く必要があります。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 災害時避難行動要支援者への見守り等の日常的な支援	○地域や関係機関との連携を図り、災害時避難行動要支援者の的確な状況把握に努めるとともに、支援のあり方や地域における支え合いの仕組みづくりを進めていきます。	○平成 30 年 3 月に「災害時要配慮者支援プラン（全体計画）」を策定し、避難行動要支援者をはじめとする要配慮者対策のあり方について決めました。〔新規〕 ○地域包括支援センターと連携し、地域の自主防災組織の立ち上げに向け、専門家を招き勉強会や懇談会を実施しました。〔新規・再掲〕	○地域住民が行う災害時避難行動要支援者への日頃からの見守り活動等の取り組みへの支援を行います。 ○地域住民によるボランティア活動への理解促進や参加促進につながるような取り組みを推進します。	○一人暮らし高齢者に対する支援として、地区民生児童委員協議会単位で行う一人暮らし高齢者会食会事業に対する助成金の交付、北会津地区における『ふれあいひろば』事業の実施、河東地区における『すみれ会』活動の支援とともに、見守り体制の強化に取り組みました。 〔開催地区 7 地区 ふれあいひろば 11 回開催 129 名参加 すみれ会 5 日開催 94 名参加〕	○近所の災害時避難行動要支援者世帯の有無を意識します。（市民） ○地域の民生委員や高齢者福祉相談員等の把握に日頃から努めます。（市民） ○日頃からの見守り活動を通して、住民同士の交流を深め、災害時に要支援者への必要な支援が行えるような関係づくりに努めます。（地域の各種団体） ○町内会、民生委員、高齢者福祉相談員、その他の地域活動団体間の協力体制づくりに日頃から努めます。（地域の各種団体） ○町内会等の行事や運営に対する協力を通じて、従業員の地域活動への参加意識を高めるように努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）	○災害時避難行動要支援者の支援体制の構築には、市の積極的な関与が必要と考えます。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
				<p>○『ふれあい・いきいきサロン活動』や『除雪ボランティア活動』を通し、地域における見守り活動、支え合い活動の取り組みを支援しました。</p> <p>○北会津地区にて、一人暮らしの高齢者や障がい者等が急病で倒れた際、かけつけた救急隊員等が素早く対応できるよう『あんしんバトン』配布モデル事業を地区民協・区長会、包括支援センターと協働し取り組みました。〔新規〕</p>	<p>○従業員が地域活動やボランティア活動等に参加しやすくなるような職場環境づくりや、積極的な参加を促すように働きかけるなど、地域貢献につながる取り組みに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者)</p> <p>○日常の業務に合わせた見守り活動等への協力に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
3 生活支援に係る情報提供体制の充実	<p>○生活支援に係る情報について、市民が理解しやすい情報提供に取り組みます。</p> <p>○生活で困ったときの相談窓口（地域包括支援センターや民生委員等）について、効果的な広報による地域住民の理解促進に努めます。</p>	<p>○「市政だより」やホームページ、冊子などさまざまな方法により、生活支援情報の提供を図りました。</p> <p>○高齢者の買物困難世帯の解消を目的に、地域包括支援センターや区長会、地区民生委員協議会など地域の各種団体と連携し、地区に配達するチラシを作成し、地区内の全戸に配付しました。〔新規〕 〔門田地区・大戸地区〕</p> <p>○1日民生委員や街頭キャンペーンを行い、民生委員・児童委員の活動への理解促進を図りました。〔新規〕</p>	<p>○ホームページの充実や社協だよりの活用等により、生活支援に係る相談先や支援制度等についての情報提供を進めていきます。</p> <p>○社協の組織、役割、取組みについての情報発信に努め、市民の理解促進を図っていきます。</p>	<p>○「社協だより」の発行、ホームページの随時更新、フェイスブックの開設など、情報発信力の強化を図り、事業内容の理解促進に取り組みました。</p> <p>○「社協だより」やホームページに生活支援に係る情報特集ページを掲載し、分かりやすい広報に努めました。</p>	<p>○市政だよりや市のホームページ、町内会からの回覧板等に日頃から目を通すなど、自分や周りの方に必要となる情報の取得に努めます。（市民）</p> <p>○回覧板による周知や、地域の活動拠点への掲示等により、住民に必要な情報をわかりやすい形で伝えることに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○利用可能な福祉サービスについて、利用者への周知に努めます。（福祉サービス事業者）</p>	<p>○市は、インターネットを利用できない人にも配慮した情報発信を行ってほしい。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
4 子育てにやさしい環境づくり	<p>○子どもを安心して産み育てられる環境づくりを行います。</p> <p>○子育てに携わる人材を育成します。</p>	<p>○「青少年育成市民会議」や「子ども会育成会」等と協働して、地域での子どもの育成に取り組みました。</p> <p>○『子ども未来基金』を活用し、地域での子どもと子育てを支援する活動へ『子ども未来基金事業助成金』を交付しました。〔新規〕〔交付数 5 団体〕</p> <p>○『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』を開催し、「地域包括ケアシステム」への理解を深めました。〔再掲〕</p> <p>○保育士有資格者を対象に『保育士復帰支援研修会』を開催し、保育士不足解消に努めました。〔4 名参加〕</p> <p>○乳幼児担当の保育士を対象とした研修会を開催し、保育の質の向上に努めました。</p>	<p>○子育てに携わる団体への支援や、サービス提供体制が十分でない地域に対する子育て支援に積極的に取り組んでいきます。</p>	<p>○湊地区における湊しらとり保育園（へき地保育所）の指定管理を受託し、『幼児英語教室や親子教室』など特色ある保育を実施するとともに、福祉施設の訪問や地元産品の給食への活用等、地域に密着した園の運営を行いました。</p> <p>○『放課後児童クラブ』のうち「湊こどもクラブ」の運営を受託し、湊小学校との連携をはじめ、地域の高齢者との交流、湊公民館行事への参加等、湊しらとり保育園同様、地域に密着した子育て支援活動を行いました。</p> <p>○NPO 法人寺子屋方丈舎が主催するこども食堂運営会議に出席するなど、子どもの居場所づくり活動を支援しました。</p>	<p>○子どもや子育て世代についての理解に努め、隣近所で子育てが行いやすい環境づくりに配慮します。（市民）</p> <p>○日頃から地域における民生委員・主任児童委員を把握します。（市民）</p> <p>○子どもや子育て世代との交流の場をつくり、子育ての孤立化を防ぐことに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○子育てに不安を抱える家庭について、市や民生委員・主任児童委員に相談又は情報提供を行います。（地域の各種団体）</p>	<p>○サロン活動が高齢者だけの活動ではなく、子どもや子育て世代など幅広い人が参加できるように取り組んでいます。〔再掲〕</p> <p>○町内会に子どもがいたときには、地域福祉活動も多く、子育てを通じて参加者も多かったです。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○子育てに関する支援、相談体制のさらなる充実を図ります。</p> <p>○共働き、ひとり親家庭等が自立して生活できるように必要な支援を行います。</p>	<p>○児童虐待を防ぐため、地域から孤立しそうな家庭にボランティアが訪問し相談や家事・育児の支援を行う『ホームスタート事業』を行いました。</p> <p>○病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かりなど多様なニーズへの対応する『ファミリー・サポート・センター事業』を行いました。</p> <p>○保護者が就労等により放課後家庭にいない小学生を対象とした『放課後児童クラブ』（こどもクラブ）を市内 24 ヶ所に設置し、適切な遊びと生活の場を確保することにより、児童の健全な育成に努めました。</p>				

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
5 高齢者が安心して生活できる地域づくり	○高齢者が可能な限り 住み慣れた地域でそ の人らしい生活が続 けられるよう、「地域 包括ケアシステム」 の構築を目指しま す。	○『あいづわかまつ地域 福祉を考えるフォー ラム』を開催し、「地域 包括ケアシステム」への 理解を深めました。〔再 掲〕 ○全市を対象とした「協 議体」の設置と『生活 支援コーディネータ ー』の配置を行い、生 活支援体制の整備を推 進しました。〔新規〕 ○住み慣れた地域でその 人らしい生活が続けら れるよう、訪問、通所 等の各種介護保険サー ビス及び各種生活支援 サービスの提供を行 いました。	○地域住民が 取り組む見 守り活動の 支援や、高 齢者の生き がづくりの 活動等への 支援を 図っていき ます。 ○地域活動の リーダー養 成の取り組 みを推進し ます。 ○高齢者の地 域生活を支 援していき ます。	○『ふれあい・いきいき サロン活動』や『除雪 ボランティア活動』の 推進、地区社協の組織 化など、地域での支 え合い活動の強化に 取り組みました。〔再掲〕 ○市より一次予防事業 を受託したほか『ふれ あい・いきいきサロ ン』に職員を派遣し、 介護予防に関する運 動や知識の啓発を行 いました。 ○老人福祉センターに おいて、高齢者の健康 と教養の増進を図る ため、多様な講座の開 催やクラブ活動、カラ オケ発表会等のイベ ント開催等、レクリエ ーションの場、交流の 場として利用促進に 取り組みました。	○生きがいつくりや社会 参加の促進について関 心高め、元気で生きが いを持って生活するこ とを目指します。(市民) ○孤立死等の防止のため、 高齢者同士の交流や支 え合いの必要性を意 識します。(市民) ○地域の活動拠点で行わ れる集いの場等に積極 的に参加します。(市民) ○介護予防についての理 解を深め、積極的な取 組みに努めます。(市民) ○地域内で健康教室等 を開催し、健康づくりに 努めます。(地域の各種 団体) ○在宅の高齢者世帯に 対する関心を持ち、見 守りや支援を行います。 (地域の各種団体)	○これからは高齢者が 増えるので、高齢者 同士でささえあわな ければならない。元 気な高齢者が元気の ない人を支える。元 気が出たら支える側 に回る。支える人も 疲れたときは、支 えてもらう側に回 り、地域を支えてい かなければならない。 ○『ふれあい・いき いきサロン』に参加 することが楽しみ で、会場まで歩くこ とや、サロンで運 動をすることで、 前より出歩けるよ うになった。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
		<p>○地域包括支援センターや地域の各種団体と連携し、地区に配達する事業者を紹介するチラシの全戸配付を行いました。〔新規・再掲〕</p> <p>○金川町・田園町住民コミュニティバスにおける地域と連携・協働したバス運行の取り組みを参考に、北会津地区、河東地区、湊地区において、地域づくり活動組織と連携し、地域内交通の実証運行や本格運行に向けた試験運行に取り組みながら、通院、買物のための交通手段の拡充を図りました。</p>		<p>○介護認定を受けた高齢者の地域生活、居宅生活を支援するため、居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、認知症対応型共同生活介護事業、認知症対応型通所介護事業の介護保険サービスを提供しました。</p> <p>○河東地域包括支援センターの運営を受託し、高齢者に対する包括支援や『認知症サポーター養成講座』など、認知症に対する理解を深める事業等を実施しました。</p>	<p>○高齢者の行事（敬老会・老人会・サロン活動等）のために、地域の自治会館や集会場等の活動拠点を開放します。（地域の各種団体）</p> <p>○従業員が退職後に地域づくりやボランティア活動等に参加し、地域貢献に従事していただけるような意識啓発に努めます。（民間事業者）</p> <p>○高齢者が利用しやすいよう福祉サービスの情報発信に努めます。（福祉サービス事業者）</p>	<p>○高齢者がもっとインターネットやスマートフォンを使うことで見守りが強化できるのではないか。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○民生委員との連携や孤立死防止等ネットワークの充実・強化により、地域に根差した高齢者の見守り体制を図っていきます。</p> <p>○地域との連携を深め、ボランティアなどを含む多様な主体による支援の拡大など、生活支援の充実を図ります。</p>	<p>○民生委員や高齢者福祉相談員との連携、『孤立死防止等ネットワーク』の充実・強化により、地域に根差した高齢者の見守り体制を図りました。</p> <p>○地域住民の支え合いにより安心して暮らせるまちづくりを目指し、社協と連携し『地域支援ネットワークボランティア事業』を展開しました。</p>		<p>○『ヤクルト愛の訪問活動』、『電気点検・清掃ボランティア活動』といった企業の社会貢献活動について、連絡調整等を支援しました。</p> <p>〔ヤクルト愛の訪問活動 736 名利用 電気点検・清掃ボランティア活動 56 世帯利用〕</p> <p>○北会津地区における見守り、支え合い、安否の確認と緊急時の対応を目的に、持病連絡先などの情報が記載された「あんしんボタン」を配備し、情報をいち早く救急隊に知らせる仕組みを、地区民生児童委員協議会と共に取り組みました。</p>		

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
6 障がい者（児） への理解促進と共生の地域づくり	<p>○障がいについての正しい理解が図られるよう、周知に取り組みます。</p> <p>○障がい者に配慮し、障がいの特性に応じた多様な情報提供に努めるとともに、市民や企業・事業所等にも理解促進を図ります。</p>	<p>○『福祉のまちづくり講演会』において、バリアフリーに関する講演を実施し、障がい者理解の啓発に努めました。</p> <p>○『地域自立支援協議会だより』を全戸配布し、合理的配慮への理解を図りました。</p> <p>○『あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラム』を開催し、「地域包括ケアシステム」への理解を深めました。〔再掲〕</p> <p>○広報議会の点字版として『点字版広報議会』を発行しました。また、音訳版の『声の広報議会』を発行し CD などの配付のほか、ホームページにも掲載をしました。</p>	<p>○障がい者の地域生活への支援に努めます。</p>	<p>○障がい者支援センターカムカムにおけるボランティア相談及び派遣窓口を担い、障がい者の地域生活を支援しました。</p> <p>○障がいに対する理解とつながりづくりを深めるため、障がい者との交流事業『一緒に走ろう』を実施しました。 〔参加者 46名〕</p> <p>○発達障がい等の子どもへの支援を強化するため、『メンタルフレンド養成講座』を開催しました。 〔4回開催 120名参加〕</p>	<p>○合理的配慮（障がいに応じた配慮）にできる限り努めます。（市民）</p> <p>○障がいについての正しい情報の受け入れに努めます。（市民）</p> <p>○障がいの有無に関わらず相互理解・支え合いの意識を持ちます。（市民）</p> <p>○障がい者に対して不当な差別的扱いをしないように努めます。（市民）</p> <p>○障がいの有無に関わらず、誰もが地域活動に参加できるように努めます。（地域の各種団体）</p>	<p>○地域に住む障がいのある人に何ができるか考えている。こちらから声をかけていいのかわからない。お互いが声をかけることが必要だと思います。</p> <p>○『精神障がい者にも対応した地域包括ケア研修』を開催し、職種間の連携を深めました。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○市民や事業者からの意見を集めることなどにより、課題を把握するとともに、地域自立支援協議会の場を活用するなど、合理的配慮（障がいに応じた配慮）にもとづき、課題解消の立案・施策展開を行い共生の地域づくりに向けて取り組みます。</p>	<p>○「雇用啓発チラシ」を企業や認定農業者等へ配付し、職場体験の受け入れを呼びかけました。</p> <p>○『地域自立支援協議会』において、専門部会を毎月開催し、各部会において課題解決に向けての取組を行いました。</p> <p>〔 ・虐待防止、差別解消のワークショップ ・外出に係るバリア状況の検討 ・福祉避難所のあり方を提言 〕</p> <p>○『障がい者差別解消支援地域協議会』を3回開催し、障がい者差別に関する事案等の情報共有や協議を行いました。</p>	<p>○障がいの有無に関わらず、誰でもボランティア活動に参加しやすい環境づくりに取り組みます。</p>	<p>○障がい者の在宅生活継続のため、居宅介護事業、重度訪問介護事業の実施、更に『ガイドヘルパー派遣事業』を受託し、身体介護や家事援助、移動支援等の支援を行いました。</p> <p>○会津通園訓練センターたんぽぽ園において、障がいのある乳幼児に対する児童発達支援、及び学童に対する放課後等デイサービスを提供しました。</p> <p>○ボランティア活動に対する市民や企業の意識啓発と、障がい者の社会参加を促進するため、『カムカムボランティアポイント事業』を実施しました。</p> <p>〔 参加者 111名 （うち障がい者 36名） 〕</p>	<p>○各種団体活動に障がい者が積極的に参加できるように努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○障がい者の雇用、就業を促進します。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p> <p>○合理的配慮（障がいに応じた配慮）にできる限り努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p> <p>○地域との交流機会を創出し、障がい・障がい者理解の推進に努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
7 生活困窮者の自立に向けた支援	<p>○総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口において適切な支援を行います。</p> <p>○関係機関との連携により、早期の情報把握及び支援に取り組めます。</p>	<p>○『生活サポート相談窓口』に早期につながるよう、地域包括支援センターや医療機関、教育機関等に連携を図り、窓口の周知を努めました。</p> <p>○就労支援や住確保給付金制度、学習支援などの支援に努めました。</p> <p>○民生委員やハローワーク、地域包括支援センターなどの関係機関と連携、情報共有を図り、早期の支援に取り組めました。</p> <p>○ひきこもりの社会復帰につながるよう、関係機関を対象に『ひきこもり支援研修会』を開催しました。〔新規・再掲〕</p>	<p>○貸付事業や法外援護事業等の実施、行政・関係機関・地域との協働により、生活困窮者の支援を行います。</p>	<p>○『ふれあい福祉センター総合生活相談所』を設置し、日常的な心配ごとから、各種専門的な相談（一般相談、法律相談、障がい児・者相談、傾聴相談、権利擁護・成年後見相談、子育て相談）にも対応しました。</p> <p>○福島県社会福祉協議会（以下「県社協」）より生活福祉資金貸付事業を受託し、生活困窮世帯の自立更生のため、資金の貸付を行いました。</p>	<p>○生活困窮者に関する総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口について把握します。（市民）</p> <p>○地域の中での生活困窮者に対して、早期の生活サポート相談窓口での相談をすすめることに努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○生活困窮者に対する地域でのインフォーマルな支援（見守りや声かけなど）を行います。（地域の各種団体）</p> <p>○生活困窮者に対して、総合的な相談窓口である生活サポート相談窓口の情報を提供します。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p>	<p>○地域の中で生活困窮者の支援は難しいので、生活サポート相談窓口は助かる。</p> <p>○親の年金で生活している親子がいる。将来の生活が不安である。</p> <p>○農業は地域で協力して行う活動が多いことから、現在ひきこもっている人を、地域の活動に参加できるようにするか考えなければならない。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○住宅確保要支援者に対しては、公営住宅や民間住宅を含めた総合的な住まいの供給や情報提供の体制を構築し、支援を行います。</p>	<p>○民生委員に対して『ひきこもりアンケート』を実施し、本市の引きこもりの現状把握に努めました。〔新規〕</p> <p>○住宅確保要支援者に対する情報提供や場合により『住居確保給付金』制度の利用を促し、家賃補助と就労支援の両面からの支援を行いました。</p>	<p>○生活困窮者についての情報を、市と共有し、支援の強化に努めます。</p>	<p>○行政や関係機関と連携し、生活困窮世帯に対する『フードバンク事業』（緊急食料の提供）、こども食堂への支援、年末特別相談会を実施しました。〔新規〕</p> <p>〔フードバンク事業〕 受入 35 件 提供 129 件 出前・年末特別相談会 開催 5 日 相談数 5 件</p>	<p>○行政・関係機関・地域と連携しながら生活困窮者への支援を行います。 （民間事業者、福祉サービス事業者）</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
8 安心安全なまちづくり	<p>○安心安全なまちづくりを推進するため、計画的に施設の整備を進めます。</p> <p>○災害時避難行動要支援者の居場所を確認し、その情報を把握するとともに、地域における日常的な見守り活動や災害時における支援などを図るための体制づくりを進めます。</p>	<p>○誰もが安全に通行できるように都市計画道路の整備を図りました。</p> <p>〔藤室鍛冶屋敷線 150m 会津若松駅中町線 276m〕</p> <p>○災害時避難行動要支援者の状況把握に努めるとともに、名簿配付のための同意を求めました。〔再掲〕</p> <p>○災害時避難行動要支援者の名簿を作成し、関係機関、区長、民生委員に配付を行いました。</p> <p>○自主防災組織の立ち上げに向けた出前講座や説明会を実施しました。</p> <p>○地域包括支援センターと連携し、地域の自主防災組織の立ち上げに向け、専門家を招き勉強会や懇談会を実施しました。〔新規・再掲〕</p>	<p>○ボランティアセンター事業の充実・強化を図ります。</p>	<p>○市総合防災訓練に参加し、ボランティアと協働で災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。</p>	<p>○自らの命は自ら守る（自助）という意識を持ちます。（市民）</p> <p>○自分たちのまちは自分たちで守る（自助・共助・互助）という意識を持ちます。（市民）</p> <p>○地域において相互に助け合い（互助）、平時から防災体制の構築に努めます。（市民）</p> <p>○地域での防犯・防火訓練の実施など、日頃より防犯・防災意識の啓発に努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○住民同士や関係団体との協力により、防犯・防災のための見回り等を実施します。（地域の各種団体）</p> <p>○施設の安全確保を図るとともに、防災意識の普及・啓発に努めます。（民間事業者、福祉サービス事業者）</p>	<p>○災害時要支援者名簿が配付されたことをきっかけに、町内会と民生委員が協力し、近所の人に支援をお願いしました。〔再掲〕</p> <p>○市は、市民に自然災害に絶対安全はないことを啓発していくことが必要ではないか。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○地域における犯罪を 抑止し、安心安全に 暮らせる地域とする ため、地域住民によ る自主的な防犯活動 を推進し、支援しま す。	○地域の防犯のため、町 内会に防犯灯の設置費 用や電気代を補助し た。			○施設の確保や備蓄品の 保管等、従業員や顧客等 が滞在可能な環境整備 に努めます。(民間事業 者、福祉サービス事業 者) ○日常的に要支援者に対 する声かけや見守りを 通して、防犯・防災意識 の向上に努めます。(福 祉サービス事業者)	
基本目標 3 に係る評価 (平成 29 年度)	<p>○地域の課題である空き家を『ふれあい・いきいきサロン』への利用を支援する『ささえあい拠点認定制度モデル事業』は評価できる。</p> <p>○地域ケア会議等により地域の各種団体間での連携を密にし、地域の実情に合わせた見守り体制の構築を図られたい。</p> <p>○地域においては、ひきこもりを心配する声が多いことから、ひきこもりの社会復帰に向けて支援の充実が望まれる。</p> <p>○災害時避難行動要支援者の支援のあり方について、要支援者個別の対応にあたっては、地域での協議が必要と考える。</p>					

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標 4 健康でずっといきいき暮らせる地域づくり						
基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 健康 づく りの 推 進	<p>○健康づくりのための普及啓発や取り組みに対する支援を行います。</p> <p>○健康課題の分析を行うとともに、関係団体と連携しながら課題解決に向けて取り組みます。</p>	<p>○高齢者の健康への関心を高めるとともに、参加者相互の親睦を深めることを目的として、『河東地域高齢者運動会』を実施しました。</p> <p>○ウォーキング大会や、公民館事業における健康講座などを行い、健康づくりの推進に努めました。</p> <p>○特定保健指導対象者への個別訪問等による保健指導の充実を図り、生活習慣病予防・重症化予防に取り組みました。</p> <p>○「健康わかまつ 21」中間評価を行い、市政だよりにて市民に公表し課題の共有を図りました。〔新規〕</p>	<p>○健康づくりにつながるような地域のサロン活動等の充実・強化に向けた支援を図ります。</p>	<p>○『ふれあい・いきいきサロン』に職員を派遣し、介護予防、認知症予防に関する運動や知識について支援を行いました。また、レクリエーション器具の貸出を行いました。〔再掲〕</p> <p>○老人福祉センター、北会津保健センターの運営を通し、健康の増進と憩いの場の提供に取り組みました。</p>	<p>○健康への関心を高め、積極的な健康づくりに努めます。(市民)</p> <p>○定期的に健診を受けるなど自分の体の状態を知り、生活習慣の見直しや早期の治療を行うことに努めます。(市民)</p> <p>○医療に対する理解を深めることに努めます。(市民)</p> <p>○適度な運動の実施や、サロン活動等への参加を通じた地域住民同士の交流等を通じ、心身のリフレッシュに取り組むことに努めます。(市民)</p> <p>○健康づくりの活動を通して住民の健康増進を図ることに努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○住民に対して健康受診の呼びかけを行います。(地域の各種団体)</p>	<p>○『ふれあい・いきいきサロン』に参加することが楽しみで、会場まで歩くことや、サロンで運動をすることで、前より出歩けるようになった。〔再掲〕</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○国保の保険者として、被保険者に対する特定健康診査等の受診を積極的に推進します。</p>	<p>○食生活の調査を行い得られたデータを会津大学と連携して分析し、地域の食状況を明らかにしながら、「会津若松市食育ネットワーク」や「会津若松市食生活改善推進協議会」などの団体と協力して市民に食生活改善を働きかけました。</p> <p>○減塩対策の一環として、高血圧者が多い地域等を中心に、地区と協力しながら各家庭の味付けの濃さを確認できるように塩分測定器の貸出し等を行いました。〔新規〕</p> <p>○特定健診受診率向上のため、健診未受診者に対して、電話や訪問による受診勧奨を実施しました。</p>			<p>○従業員の健康づくりに対する理解の促進に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者)</p> <p>○従業員への定期健康診断の実施や、人間ドックの積極的な受診の推進に努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p> <p>○従業員が医療機関を早期に受診できる職場環境づくりに努めます。(民間事業者、福祉サービス事業者等)</p>	

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 地域医 療体制 の充実	<p>○市民に適切な医療を提供できるよう、医師会及び歯科医師会や薬剤師会をはじめとする関係医療機関と連携し、時代の要請に応じた医療体制の確保に努め、医療の充実を図ります。</p> <p>○医療機関や保健所等との連携により、難病患者への支援のあり方についても対応を進めていきます。</p>	<p>○夜間・休日の救急医療体制の確保を図るため、会津若松医師会や二次救急病院群、会津保健福祉事務所等を運営委員とした「夜間急病センター運営協議会」、「救急医療病院群輪番制運営協議会」を開催し、救急医療の円滑な運営に努めました。</p> <p>○県や医療機関、福祉事業者などが参加する「難病患者地域支援連絡会議」、「難病患者在宅ケア調整会議」に参加し、支援体制の整備を図りました。</p>			<p>○市ホームページや市政だより等による休日当番医や医療機関に関する情報に日頃から関心を高めることに努めます。(市民)</p> <p>○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持ち、いつでも安心して診療が受けられるように努めます。(市民)</p> <p>○在宅医療についての認識を深めることに努めます。(市民)</p> <p>○出前講座等の利用により、本市の医療体制の現状や在宅医療についての理解を深めることに努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○市民が安心して必要な医療が受けられるよう、市内医療機関の医師・看護師等の医療スタッフの確保に努めます。(医療機関等)</p>	<p>○地域の薬局がサロン活動に参加し、健康測定や薬について勉強ができました。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	○母子の健康の確保に向けた、かかりつけ医の推奨など地域医療機関との連携を充実します。また、保健・医療・福祉の連携による障がい児への支援や障がい者へのサービス提供体制の充実を図ります。	○乳幼児健診や健診事後相談事業で発達障がいの早期発見の取り組みを行いました。	/	/		
基本目標 4に係る評価 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ウォーキングや「健康講座」などの取組が、継続的な健康づくりにつなげられたい。 ○健康を維持するには、年齢に応じた食生活が重要であることから、引き続き各種団体と連携しながら、食生活の改善に努められたい。 ○保健衛生事業の更なる円滑な実施に向け、関係機関が連携した取組を継続されたい。 ○医療機関がない地域については、将来的に ICT を活用した医療体制の検討も必要と考える。 					

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本目標 5 福祉サービスの充実した地域づくり						
基本施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
1 福祉サービスを利用しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○市民に対して福祉サービスについての的確な情報発信を行います。 ○関係機関との連携により、利用者ニーズに即した福祉サービスの提供につながる環境整備を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページやパンフレット、「介護保険の手引き」、「障がい者福祉ハンドブック」などの冊子により、福祉サービスの周知を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ニーズを踏まえ、利用者にとって、さらに利用しやすいような事業の充実を積極的に図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「社協だより」、ホームページ、フェイスブックにより、事業内容について情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉サービスの内容や提供事業者に関する情報の把握及び、自分に合ったサービスの選択・利用に努めます。(市民) ○福祉サービスの内容や提供事業者に関する情報などを地域住民間で共有できるような場づくりに努めます。(地域の各種団体) ○利用者一人ひとりを尊重したサービスの提供を心がけるとともに、利用者ニーズに即した更なるサービスの向上に努めます。(福祉サービス事業者等) ○福祉サービスの向上につながるような人材育成や職場環境の向上に努めていきます。(福祉サービス事業者等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉サービス事業者による地域住民への施設の紹介や開放などの情報公開を期待する。 ○福祉サービス事業者が地域との接点を持つことが難しい。地域ケア会議に参加することで地域の人と接点を持つことができました。 ○市は、インターネットを利用できない人にも配慮した情報発信を行ってほしい。〔再掲〕

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
2 相談体制の 充実・強化	<p>○各種相談窓口や相談員の情報を一覧表で整理し、広報紙やホームページなどに掲載するほか、民生委員や地域包括支援センターなどの相談員を通じ、周知を図ります。</p> <p>○各所属に関する情報を市民に対して適切かつ効果的に広報し、市民が個別のニーズに基づき、円滑に相談・利用できるように努めます。</p> <p>○各種相談窓口間の連携を密にし、市民からの相談に対して一元的な相談体制を構築します。</p>	<p>○生活支援や相談窓口の一覧を掲載した「市民ガイドブック」を作成し、転入者に配付のほかホームページに掲載しました。</p> <p>○地域の障がい者の相談窓口において、高齢者福祉との連携を強化し、相談支援機能を強化しました。</p>	<p>○総合相談業務の体制強化を図り、必要に応じて市や関係機関との情報共有や連携を行います。</p>	<p>○『ふれあい福祉センター総合生活相談所』を設置し、日常的な心配ごとから、各種専門的な相談（一般相談、法律相談、障がい児・者相談、傾聴相談、権利擁護・成年後見相談、子育て相談）にも対応しました。（再掲）</p> <p>○県社協より『日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）』を受託し、判断力が低下した認知症高齢者等の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や金銭管理等を行いました。</p> <p style="text-align: center;">〔 契約者数 48 名 相談援助件数 5,590 件 〕</p>	<p>○各種相談窓口に関する情報について市のホームページや広報誌などに日頃から目を通し把握に努めます。（市民）</p> <p>○地域の中で情報を必要としている人の把握に努めます。（地域の各種団体）</p> <p>○各種相談窓口についての情報を把握し、情報を必要としている住民に周知します。（地域の各種団体）</p> <p>○日頃より各種相談窓口等の情報把握に努めるとともに、サービス利用者や相談者に対する周知に協力します。（福祉サービス事業者等）</p>	<p>○市にはさまざまな相談窓口があり便利な反面どこに相談に行けばよいかかわりにくい。高齢者以外の問題も、地域包括支援センターで相談でき、市などにつながるようになればよい。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
	<p>○専門的な人材の配置や、相談業務に対応する人材に対する研修等を通して、相談体制の強化を図ります。</p>	<p>○弁護士、司法書士、ファイナンシャルプランナーを配置し、生活困窮や多重債務等の改善に向けたアドバイスを行う『納税等相談会』を実施しました。</p> <p>○消費生活相談員に、専門的知識の習得のための研修受講の機会を設け、相談体制の強化を図りました。</p>		<p>○行政や関係機関と連携し、生活困窮世帯に対する『フードバンク事業』（緊急食料の提供）、『こども食堂事業』、『年末特別相談会』を実施しました。 (再掲)</p>		

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

基本 施策	基本施策の展開 ＜行政の役割＞	平成 29 年度 市の取組	基本施策の 展開 ＜社会福祉協 議会に求めら れること＞	平成 29 年度 社会福祉協議会の取組	基本施策の展開 ＜市民、地域の各種団体、民 間事業者、福祉サービス事業 者等に求められること＞	地域福祉活動の 実態調査結果
3 利用者 主体の 福祉サ ービス の実現	<p>○関係機関との連携により、利用者からの声を吸い上げるような仕組みづくりを行います。</p> <p>○利用者からのニーズについては、関係機関に確実に伝達するような連携体制を構築します。</p> <p>○市民に対して福祉サービスについての的確な情報発信を行い、現状の福祉サービスについての正しい理解を深めることに努めます。</p>	<p>○「地域ケア会議」において、地域の方から広く意見をいただき、関係者間で情報の共有を図りました。</p> <p>○「介護保険運営協議会」において、利用者からの意見をいただき、市と事業者間で情報の共有を図りました。</p> <p>○ホームページやパンフレット、「介護保険の手引き」、「障がい者福祉ハンドブック」などの冊子により、福祉サービスの周知を図りました。〔再掲〕</p>	<p>○福祉サービスの質の向上につながるよう、利用者からのニーズの把握に努めるとともに、ニーズを踏まえた事業を推進します。</p>	<p>○寄せられた要望・苦情について、事務局内で共有し、業務の改善を図るとともに、第三者委員である苦情解決委員に報告を行いました。</p> <p>○介護サービス事業所、指定管理施設では利用者アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めました。</p>	<p>○福祉サービスやサービス提供事業者の情報に関心を持ち、自分に合った福祉サービスの選択に心がけます。(市民)</p> <p>○福祉サービスを利用して気づいた点等があれば、サービス提供事業者に伝えるよう努めます。(市民)</p> <p>○住民間で福祉サービスや提供事業者に関する情報交換等を行えるよう、住民同士の交流機会の創出に努めます。(地域の各種団体)</p> <p>○利用者一人ひとりを尊重したサービスの提供を心がけるとともに、利用者ニーズに即した更なるサービスの向上に努めます。</p> <p>○福祉サービスの向上につながるような人材育成や職場環境の向上に努めていきます。(福祉サービス事業者等)</p>	<p>○地域の人も施設の行事に参加できるようになり、入所後に疎遠になってしまった地域の人との接点ができて、利用者に喜ばれている。</p>

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート

<p>基本目標 5に係る評価 (平成 29 年度)</p>	<ul style="list-style-type: none">○福祉サービス利用者のニーズが多様化していることから、利用者がニーズに即したサービスが受けられるよう情報の提供、関係機関との連携を継続して実施されたい。○福祉サービス事業者にとっては、事業の継続に向けた取組を強化するとともに、事業者としても地域の一員として、引き続き地域の活動に参加していただきたい。
-----------------------------------	---

会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的取組）

1. 地域福祉活動の基盤となる地域の仕組みづくりの推進

取組項目	平成 29 年度の取組
(1) 地域住民の参画による地域づくりの推進	○市民公益活動団体との協働により地域課題の解決に取り組む『行政提案型協働モデル事業』を実施しました。
(2) 地域を支える人材の育成	○地域課題に対する活動や起業を検討している個人・団体等を支援するため、専門家によるアドバイスを行う『市民活動・ソーシャルベンチャー相談窓口』を設置しました。〔新規〕 ○地域活動等に主体的に取り組むことのできる人材の育成を目的に、『生涯学習支援者講座』、『地域デビュー応援講座』を開催しました。
(3) 社会的孤立の防止	○ひきこもりの社会復帰につなげるとともに、すべての人が活躍する地域づくりにつなげることを目的に『ひきこもり支援研修会』を開催しました。〔新規〕
(4) 権利擁護の推進	○高齢者等の権利擁護への関心を高めるため、成年後見制度の普及啓発の研修会を開催しました。〔入門編 15名受講・応用編 20名受講〕
(5) 各種団体間の協力体制の構築	○社会福祉協議会（以下「社協」）とともに地域包括支援センターや区長、民生委員、高齢者福祉相談員、福祉事業者などが参加する地域ケア会議、福祉事業者などによる専門職ケア会議に参加し、各者が連携し、地域の見守り・支援体制づくりを推進しました。
(6) 企業・事業所への啓発活動等による環境整備	○会津若松商工会議所などの経済団体を通じ、地域福祉活動への企業の参加と、従業員が参加しやすい職場環境づくりを要請しました。〔新規〕
重点的な取組の評価	
○地域の仕組みづくりにあたっては、地域において中心となり活動する担い手となる人材が必要不可欠であることから、教育機関や社協と連携し、担い手となる人材の育成を図ることが望まれる。	
○地域ケア会議等により、地域の各種団体と連携を密にし、地域の実情に応じた見守り体制と支援体制づくりの構築を図りたい。	
○地域福祉活動に企業自身の参加や、従業員や学生が活動に参加しやすい環境づくりを促す取組の強化を図りたい。	

会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的取組）

2. 災害時避難行動要支援者に対する日常的な見守り体制

取組項目	平成 29 年度の取組
(1) 災害時避難行動要支援者の把握方法について	○住民基本台帳や高齢者、障がい者等に関する情報をもとに、災害時避難行動要支援者の把握を図りました。
(2) 災害時避難行動要支援者情報の共有及び更新方法について	
①関係機関間の情報共有方法	○平成 30 年 3 月に『災害時要配慮者支援プラン（全体計画）』を策定し、避難行動要支援者をはじめとする要配慮者対策のあり方について決めました。〔新規〕 ○災害時行動要支援者のうち、名簿の配付に同意した人の名簿を町内会の区長、民生委員などの避難支援等関係者に配布しました。
②情報の更新方法	○新たな災害時避難行動要支援者になった人、前回調査時に名簿配付に未同意者に名簿配付の同意を求めました。
(3) 災害時避難行動要支援者の支援について	
①日常的な見守り活動や助け合い活動の推進方策	○社協とともに地域包括支援センターや区長、民生委員、高齢者福祉相談員、福祉事業者などが参加する地域ケア会議に参加し、各者が連携し、地域の見守り・支援体制づくりを推進しました。
②緊急対応に備えた役割分担と連絡体制づくり	○地域包括支援センターと連携し、地域の自主防災組織の立ち上げに向け、専門家を招いた勉強会や町内会との懇談会を実施しました。〔新規〕 ○災害時に医療に必要な情報について、会津若松医師会、会津薬剤師会と協議を行いました。〔新規〕
重点的な取組の評価	
○地域における日々の見守りが、災害時に自力で避難できない人への支援につながることから、引き続き地域の実情に応じた見守り体制の構築を進められたい。 ○災害時避難行動要支援者の支援に関する個別計画や 自主防災組織の立ち上げに向けて、地域での支援体制の促進が望まれる。	

会津若松市地域福祉計画評価シート（重点的取組）

3. 生活困窮者自立支援の取組

取組項目	平成 29 年度の取組
(1) 生活困窮者の把握方法について	<p>○早期発見、早期支援のため、社協、民生委員、地域包括支援センター、ハローワークや教育機関など関係機関との連携・情報共有を図るとともに、市の組織横断的な「生活困窮者自立支援庁内連携連絡会議」を開催して生活困窮者に関する情報把握に努めました。</p> <p>○『生活サポート相談窓口』の周知を図るため、医療機関やハローワーク等の関係機関、ケア会議の参加者へパンフレットを配付することで、周知・広報に努めました。</p> <p>○公民館において、巡回相談会を実施するなど早期発見への取り組みに努めました。</p> <p>○民生児童委員に対して「ひきこもりアンケートを実施し、本市の引きこもりの現状把握に努めました。〔新規〕</p>
(2) 自立支援のための各種支援について	<p>○生活困窮者自立支援制度に基づき、必須事業の『自立相談支援事業』として、就労などの相談支援、住居の確保と就労自立を図るため『住居確保給付金』の支給を行いました。</p> <p>また、任意事業として、就労に向けた基礎能力の形成や改善が必要な方を対象とした『就労準備支援事業』や、生活困窮世帯の子どもを対象とした『学習支援事業』を実施しました。</p>
(3) 生活困窮者への支援を通じた地域づくりのあり方	<p>○生活困窮者への支援については、公的な支援制度のみならず、地域住民等の理解やつながりが大切であることから、地域福祉の中核を担う民生委員等との連携を図り、市民生委員協議会理事会等において情報共有と連携に努めました。</p> <p>○ひきこもりの社会復帰につなげるとともに、すべての人が活躍する地域づくりにつなげることを目的に『ひきこもり支援研修会』を開催しました。〔新規〕</p>
重点的な取組の評価	
○庁内連携による生活困窮者への支援は、成果を収めていることから、引き続き連携による支援の強化を期待したい。	

会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画評価シート(重点事業)

項目	平成29年度の取組	評価
1 地区社会福祉協議会の設立・運営支援 ～地域の自助・互助力の強化～	地域の支え合い、助け合いの基盤づくりを進めるため、各種地域会議に参加し、関係機関と連携を図った。また、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）設立に向けてのモデル地区指定を目指し、地区に対して説明会を行い、地区社協への理解を促したが、設立までに至らず、今後の大きな課題となった。	「住民主体」の活動であることをしっかり担保し、自治会長や民生委員のみが担い手になるのではなく、地域住民が役割を分け合える仕組みづくりとして、地区社協の必要性に気づいてもらい、地域の自発的な動きに向かうよう粘り強く働きかけていただきたい。また、地区社協は、住民の関心も高いので、設立に向けた取組の推進を図られたい。
2 身近な相談窓口の開設 ～相談・生活支援体制の充実～	広報媒体による広報周知を行うほか、各種相談を受け付け、様々な生活課題の解決に向けて本会事業や他専門機関へ繋ぐ等、支援した。また、行政、NPO等と連携し、出張相談会を開催した。さらに、「あいづ安心ネット」やボランティア団体とも連携し、様々な生活課題の解決に努めた。	市民に対する広報・説明が不十分。生活課題を抱えた住民に対し、相談から解決に至る道筋を明らかにしながら他機関との連携し、更なる相談支援体制の確立と周知を図られたい。
3 地域支援コーディネーターの育成・配置	各種研修会や地域会議、介護予防教室、地域サロン活動等に参加し、アウトリーチ（地域に向かい出していくこと）に努めたが、地域支援コーディネーターの配置には至らなかった。	市の『生活支援体制整備事業』における「生活支援コーディネーター」と連携し、地域支援の役割を担う人材の確保を早急に図られたい。
4 多様なネットワークの構築 ～新たな協働事業の創出～	障がいの程度にかかわらず、誰でもボランティア活動に参加しやすい環境づくりや障がい者の社会参加を促しボランティア活動のすそ野を広げることを目的に、『カムカムボランティアポイント事業』を実施した。また、NPOによる『こども食堂』の運営等を支援した。地域の担い手育成のため、新たなボランティア育成事業の展開として、『会津若松市ボランティア学園』（以下「ボランティア学園」）の開校に向けて取り組んだ。	『ボランティア学園』に多くの市民の受講を促し、ボランティア活動参加のすそ野を広げるとともに、行政・社会福祉協議会のみならず、多様な機関との連携を深め、市民が主体的に参加できる環境づくりに努められたい。

※ コーディネータの違いについて

地域支援コーディネーター……………地区社協活動の支援と地域住民が行う福祉課題解決に向けての地域福祉活動の支援。社協が設置し、地区の全住民が対象。

生活支援コーディネーター……………地域における高齢者の生活支援・介護予防の推進のため、関係者間のネットワーク構築と担い手の育成等の実施。

市が設置し、高齢者が対象。

地域生活支援コーディネーター……………親亡き後を見据えた親元からの自立の支援と施設入居者や入院中の精神障がい者の地域生活移行支援の推進。

市が設置し、障がい者が対象。

会津若松市地域福祉計画・社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会地域福祉活動計画全体評価

<p>全体評価 (平成 29 年度)</p>	<p>平成 29 年度は『地域福祉計画』『地域福祉活動計画』策定から 2 年を経過し、地域において関係機関による地域課題の共有化が図られてきている。一部の地域では、徐々に個別の地域課題の解決に向けた取組が進められているが、仕組みづくりという目に見える形には至っていない状況にあるものと評価される。</p> <p>個別には、『地域福祉計画』基本目標 3「いつまでも安心、安全に暮らせる地域づくり」については、災害時要配慮者支援、買物困難世帯支援、ひきこもり支援、空き家対策など、新たな事業が図られている一方で、『地域福祉計画』重点的な取組である「地域福祉活動の基盤となる地域の仕組みづくりの推進」、「災害時避難行動要支援者に対する日常的な見守り体制」、「生活困窮者自立支援の取り組み」については、地域としての要望も高いこと、『地域福祉活動計画』重点事業 1「地区社会福祉協議会の設立・運営支援」については、地域における地域福祉活動の拠点として重要であることから、今後更なる支援強化を期待したい。</p> <p>また、解決に向けての方法や仕組みづくりに苦慮されている地域も多い状況を踏まえ、今後も、市や社会福祉協議会など関係機関が連携して支援に努められたい。</p> <p>計画全体として取組が進んでいる一方で、取組の強化が必要な課題も見受けられた。評価結果を踏まえ、課題の解決に向けて、今後、一層の取組強化を図られたい。</p>
----------------------------	---

会津若松市地域福祉計画等評価検証会議委員名簿

所属団体等	役 職	氏 名	備 考
会津大学短期大学部	講 師	鈴 木 勲	学識経験者
会津若松市区長会	教養部会副会長	小 野 修	地域の関係団体
会津若松市民生児童委員協議会	理 事	中 島 健 次	地域の関係団体
湊地区地域活性化協議会	生活福祉部会長	坂 内 美智男	地域の関係団体
河東地域づくり委員会	会 長	岩 淵 澄 男	地域の関係団体
会津若松市地域包括支援センター連絡会	若松第3包括支援センター 管理者	森 山 秀 一	社会福祉関係団体
会津若松市障がい者総合相談窓口	管理者	齋 藤 研 一	社会福祉関係団体
会津若松市ボランティア連絡協議会	庶務	熊 田 洋 子	ボランティア団体